

事業実績書

団体名	佐山地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地域の住民や各種団体等が相互に協力・連携することにより、コミュニティ意識を高め、地域全体で課題の解決に取り組み、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域内の防災意識及び防災組織力の向上		
	事業名	自主防災組織基盤強化事業	決算額	702,827円
②	視点	地域内の環境美化と世代間の交流		
	事業名	フラワーロード花壇整備事業	決算額	304,639円
③	視点	地域内交通弱者への生活支援強化		
	事業名	買物・病院便運行事業	決算額	818,320円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
① 「防災先進地視察研修」を実施したことで、自主防災会本部や各地区の防災リーダーを中心とした参加者が、過去に被災した地域へ赴き、現地の経験談を吸収することによって、有事の際の早めの避難の重要性を再認識するとともに、防災に関する知識や行動の指針を改めて考える切っ掛けとなりました。 また、小学4年生を対象として、紙芝居やDVDを使って説明したり、非常食等の防災用品を展示したりと、例年わかりやすい「防災体験学習」を実施することで、子どもたちに防災の重要性を説くことができました。 今後も、自治会や行政と連携しながら、避難訓練をはじめ、トランシーバー交信訓練、「防災先進地視察研修」、「防災体験学習」を継続し、地域住民の自主防災意識を高め、災害に強い組織づくりを図ります。	◎
② 佐山の玄関口となる国道190号線沿いの「フラワーロード佐山」の花壇に、ポーチュラカ約600本、赤や青のビオラ約1500本、赤や白の芝桜約1000本ほど植え付けることで、道行く車両の方々に美しい風景を提供することができました。 また、今年度も小学3年生の環境学習として「花の植え付け体験」を実施し、実際に子どもたちと「フラワーロード佐山」の花壇づくりを一緒にやることで、環境美化への意識付けをすることができました。 今後も、「子どもたちの植え付け体験」を継続し、地域内の環境美化と、世代間交流の場となる花壇づくりを行います。	◎
③ 阿知須方面への「買物・病院便」の運行により、交通弱者への生活支援と、コミュニティタクシーのさらなる充実を図ることができました。 今後も、コミュニティタクシーを活用した地域外への運行を継続し、交通弱者の日常生活を支える交通手段を確保します。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

今後も、行政や地域団体等と連携しながら、佐山の暮らしを良くするための「第4次佐山地区地域づくり・福祉活動計画(令和4～8年度)」を地域全体で着実に実行することで、子どもから大人までの幅広い年齢層の交流を図り、地域の中で人と人をつなぎ、安全安心で住みやすい地域をつくりまします。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3,959,276円
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務局員1名 (運営費の主な内容) 事務局職員人件費、事務費、会議費ほか (成果・評価) 年間を通して、円滑な事務局運営を行うことができました。 (今後に向けて) 今後も、各部会を中心に、行政や地域団体等と連携し、円滑な事務局運営を行います。

(2) 地域振興

事業名	地域づくり協議会だより発行事業
事業費	187,550円
事業概要	(実施内容) 広報紙「地域づくり協議会だより」の年3回発行に加え、ホームページ(ブログの更新)も活用し、地域住民に地域内の話題やイベント、地域づくり協議会の活動内容等を周知しました。 (実施時期) 年3回(6月・7月・1月) (参加人数) 10人(協議会関係者等) (成果・評価) 広報紙の作成にあわせて、ホームページ(ブログ)を更新したことで、地域住民へのさらなる周知を図ることができました。 (今後に向けて) 今後も、広報紙とホームページ(ブログの更新)を併用し、地域住民に広く、地域内の話題やイベント、地域づくり協議会の活動内容等を周知します。

事業名	地域活性化交流活動推進事業
事業費	177,830円
事業概要	(実施内容) 地域の若者(青壮年層)によるイベント企画会議等、地域づくり協議会への青壮年層の参画や、次世代の担い手育成、地域活性化につながる交流活動を推進しました。 (実施時期) 令和6年6月15日、11月27日、令和7年1月9日 (参加人数) 24人 (成果・評価) 文化体育部会の青壮年層を中心に、「さやま〜フェス(夏祭り)」や「クリスマスイルミネーション」、「小正月祭(どんど焼き・七草がゆ)」等、文化体育行事の活性化を図る交流イベントの企画会議を開催することができました。また、今年度、「佐山ご当地レノ丸」を作成しています。 なお、昨年度実施した小学校での清掃活動(PTA環境整備)にあわせた「地域型チャレンジデー(ラジオ体操)」については、残念ながら荒天中止となりました。 (今後に向けて) 今後も、地域づくりの担い手となる若手人材を養成するため、青壮年層を対象とした研修会や交流会、イベント企画会議等を開催します。

事業名	地域振興活動推進事業
事業費	55,000円
事業概要	(実施内容) 地域内の話題やイベント、行政情報等の地域情報のメール発信を行い、地域振興につながる活動を推進しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 209人 (成果・評価) メール配信サービスにより、地域内の話題やイベント、行政情報等をいち早く地域住民に知らせることができました。 なお、地区史看板設置については会誌「佐山」第15号の発刊事業に傾倒したため、今回延期となりました。 (今後に向けて) 今後も、地域情報のメール発信や歴史説明看板の設置を継続することで、イベント開催のお知らせや歴史の紹介等、地域振興につながる活動を推進します。

(3) 地域福祉

事業名	買物・病院便運行事業
事業費	818,320円
事業概要	(実施内容) コミュニティタクシーと連携して、地域外(阿知須)への「買物・病院便」を週3回運行し、地域内の交通弱者の日常生活を支援しました。 (実施時期) 週3回(月・水・金) (参加人数) 1,150人(利用者) (成果・評価) 阿知須方面への「買物・病院便」の運行により、交通弱者への生活支援と、コミュニティタクシーのさらなる充実を図ることができました。 (今後に向けて) 今後も、コミュニティタクシーを活用した地域外への運行を継続し、交通弱者の日常生活を支える交通手段を確保します。

事業名	健康づくり活動推進事業
事業費	32,305円
事業概要	(実施内容) 楽しくウォーキングを始めることを勧める「秋のウォーキング大会in佐山」や高齢者の健康増進と元気づくり活動ということで「体調チェックサポート講座」(2回)を開催しました。講座では「健康チェック機器体験会」や「ヨガ体験」を実施。地域の健康づくり活動(元気な長寿地域づくり)を推進しました。 (実施時期) 令和6年7月8日、11月10日、12月4日 (参加人数) 54人 (成果・評価) 地域内約6キロを楽しく歩く「秋のウォーキング大会in佐山」を開催したことで、参加者に地域の良さを感じていただくことはもちろん、理学療法士から「正しい歩き方」や「靴の履き方」のレクチャーされ、ウォーキングによる健康増進の理解が深まりました。 また、「体調チェックサポート講座」では、保健師や栄養管理士からのアドバイスを受けながら、栄養バランスの良い簡単調理や試食が行われました。同時に「健康チェック機器体験会」により参加者の血管年齢等のチェックが行われ、食生活の改善と健康づくりに取り組んでいただきました。 (今後に向けて) 今後も、行政や地域団体等と連携し、「ウォーキングイベント」や「健康教室」等を継続することで、健康づくり活動(元気な長寿地域づくり)を推進します。

(4)安心・安全

事業名	自主防災組織基盤強化事業
事業費	702,827円
事業概要	(実施内容) 自主防災会の「防災先進地視察研修」やトランシーバー交信訓練、小学4年生の「防災体験学習」の実施、災害用資機材の点検・備蓄管理等により、地域内の防災意識及び防災組織力のさらなる向上を図りました。 (実施時期) 令和6年6月2日、9月17日、11月23日24日、令和7年1月26日 (参加人数) 155人 (成果・評価) 自主防災会本部や各地区の防災リーダーを中心に、「防災先進地視察研修」を実施したことで、地震や洪水、火災等の模擬体験を通して、改めて早めの避難の重要性を認識するとともに、防災に対する知識や行動力を身につけることができました。 また、小学4年生を対象として、紙芝居やDVDを使って説明したり、非常食その他防災用品を展示したりと、わかりやすい「防災体験学習」を実施したことで、子どもたちに防災への興味を持たせることができました。さらに交流センターの避難訓練に合わせて、小学生に消火器(訓練用)を実際に使うことで、初期消火のやり方を体験してもらいました。 なお、今年度は阿東の防災会が研修視察に来られたため、その受け入れ研修会も開催しております。 (今後に向けて) 今後も、自治会や行政と連携しながら、「総合防災避難訓練」や「トランシーバー交信訓練」、各種災害や対象者に応じた「防災先進地視察研修」や「防災体験学習」を継続し、地域住民の自主防災意識を高め、災害に強い組織づくりを図ります。

事業名	子ども見守り事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 登下校時の子どもたちを交通事故や犯罪から守る「子ども見守り隊」の活動を支援しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 129人(協議会関係団体等) (成果・評価) 「佐山地区子ども見守り隊」や「佐山地区交通安全対策協議会」等と連携し、通学路等での立哨や安全点検を実施したことで、登下校時の子どもたちを見守ることができました。 (今後に向けて) 今後も、地域団体等と連携し、通学路等での立哨や安全点検を実施することで、登下校時の子どもたちの安全安心を確保します。

事業名	交通安全対策事業
事業費	56,620円
事業概要	(実施内容) 地域から要望があった通学路や交差点等の危険箇所に、必要な交通安全対策を実施しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 10人(協議会関係者等) (成果・評価) 自治連合会や交通安全対策協議会、小学校PTAと連携し、地域内の危険箇所に路面標示や啓発看板による安全対策を実施したことで、交通事故の防止につながり、地域の安全性の向上を図ることができました。 (今後に向けて) 今後も、自治連合会や地域団体等と連携しながら、通学路等の安全を点検し、危険箇所にカーブミラーや交通安全啓発看板の設置等、必要な交通安全対策を実施します。

(5)環境づくり

事業名	フラワーロード花壇整備事業
事業費	304,639円
事業概要	(実施内容) 「フラワーロード佐山」を中心に、国道190号線沿いの花壇づくりや、小学3年生への「花の植え付け体験」を行いました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 218人 (成果・評価) 佐山の玄関口となる国道190号線沿いの「フラワーロード佐山」の花壇に、ポーチュラカ約600本、赤や青のビオラ約1500本、赤や白の芝桜約1000本ほど植え付けることで、道行く車両の方々に美しい風景を提供することができました。 また、今年度も小学3年生の環境学習として「花の植え付け体験」を実施し、実際に子どもたちと「フラワーロード佐山」の花壇づくりを一緒にやることで、環境美化への意識付けをすることができました。 (今後に向けて) 今後も、「子どもたちの植え付け体験」を継続し、地域内の環境美化と、世代間交流の場となる花壇づくりを行います。

事業名	地域環境整備事業
事業費	196,500円
事業概要	(実施内容) 地域内の環境美化のため、「佐山地区環境衛生委員会」を中心に、地域全体で取り組むごみ拾い「ごみゼロ大作戦」や、国道190号線に隣接する「どんぐりの森」周辺の草刈り清掃を行いました。 (実施時期) 令和6年5月11日、7月13日、7月20日 (参加人数) 695人 (成果・評価) 佐山地区全域を対象として、「ごみゼロ大作戦」を開催し、自治会や「川西中ボランティアサークルきずな」、「子ども会」、さらに山口と宇部テクノパークの企業の方々の参加によって、環境美化による「おもてなし精神」を伝承しながら、参加者の環境美化意識を高めることができました。 また今年度も「どんぐりの森」周辺の草刈を2回実施し、国道190号線付近のごみ拾いを始めとした環境美化を心がけることによって、佐山を通行する方々の印象を良くします。 (今後に向けて) 今後も、地域団体等と連携し、国道190号線沿いのごみ拾いや草刈等の環境美化清掃を実施することで、地域内の環境美化と、佐山のイメージアップを図ります。

(6) 地域個性創出

事業名	フラワーロード研修・交流広場整備事業
事業費	216,026円
事業概要	(実施内容) 地域のボランティア組織「フラワーロード佐山」が芝桜の花壇を整備するにあたって、花壇づくりの技術を磨くことを目的とした「バス視察研修」を行いました。また交流広場の整備も行います。 (実施時期) 令和6年9月28日 (参加人数) 23人 (成果・評価) 昨年に引き続き開催された「バス視察研修」では、北九州市門司区の白野江植物公園を訪問し、ボランティアガイドさんから猛暑続きの厳しい気象条件の下での花の栽培方法について説明を受け、今後も続くであろう夏の不遇な気象条件の中で、花の生育に役立つ有効な手立てを学ぶことができました。会員にとって役立つ知識を得られたこととともに、「フラワーロード佐山」の会員相互の交流をより一層深めることができました。 (今後に向けて) 今後も、「フラワーロード佐山」の花壇づくり研修を継続し、「花壇交流広場」の活用による世代間交流を促進します。

事業名	地域イベント開催支援事業
事業費	250,344円
事業概要	(実施内容) 文化体育部会の青壮年層(青壮年部、子ども会、PTA、コムスポ)が中心になって企画した、多世代交流イベント(さやま〜フェス、さやま小正月祭、三世代交流ボウリング大会)の開催費用等を支援しました。 (実施時期) 令和6年5月26日、8月31日、11月4日、12月8日、 令和7年1月11日、2月24日 (参加人数) 3,375人 (成果・評価) 「さやま〜フェス」と称した夏祭りイベントとして、青壮年部や子ども会、PTA等の複数の地域団体が加わり、文化体育部会の主催として開催、地域住民の多世代交流の場をつくり、文化体育行事の活性化を図ることができました。 (今後に向けて) 今後も、行政や地域団体等と連携しながら、子どもから大人までの幅広い年齢層の地域内交流を促進するための地域イベントを支援します。